

70th
anniversary

株主のみなさまへ

第71期のご報告

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

株式会社 **キング**



TOP MESSAGE

キンググループは創立70周年を迎え、
新たな歴史を築いていくために、
科学(構造式)をベースに、
感性(想像力)を更に強め、
継続的、安定的な業績向上を目指し続けます



代表取締役会長CEO
山田 幸雄



代表取締役社長COO
長島 希吉

事業セグメント別の状況は以下のとおりであります。

■アパレル事業

「強い商品が全てに優先する」ことをアパレル事業における揺るがない基軸として、企画部門は高品質・高感度な「ものづくり」を目指して、各ブランドにおけるコンセプトの明確化と差別化の徹底、クリエイション力・マーチャンダイジング力の強化、一部ブランドにおける企画体制の刷新等に取り組むと共に、前期に引き続き生産管理体制の横軸機能の確立と強化に取り組みました。また、2018年秋にデビューとなる新ブランド「PREUVE(プルーヴ)」を発表しました。

営業部門では、質の向上を伴った売上高の拡大を最重要課題として、2017年秋より新ブランド「MORABITO PREMIER(モラビト プルミエ)」「MORABITO BLANC(モラビト ブラン)」の店頭展開を開始すると共に、既存ショップのブランド構成を再編成し新たな複合ブランドショップの展開、パートナーショップを中心とした新規ショップ開発の推進等に取り組んでまいりました。

しかしながら、衣料品に対する消費者の買い控え傾向は依然として根強く、売上高は前期比6.1%減少の101億66百万円、営業利益は前期比14.1%増加の10億19百万円となりました。

■テキスタイル事業

テキスタイルのプロフェッショナルとして自己完結型ビジネススタイルの更なる進化を目指すと共に、次世代の人材育成に主眼を置いた継続性のある組織体制の構築、新規取引先の拡大に取り組まれました。また、一方で「ヴィンテージコレクション」を中心とした意匠力の再整備

や、素材・加工方法の開発推進による提案力の向上にも注力し、時代に即した企画提案型テキスタイルコンバーターとしての競争力強化に努めました。

その結果、プリント需要の高まりの影響も受け、売上高は前期比22.3%増加の10億44百万円、営業利益は前期比252.3%増加の50百万円となりました。

■エステート事業

東京・京都・大阪の各不動産に係る賃貸事業につきましては、引き続き資産の有効活用に努め、売上高は前期比41.4%増加の5億21百万円、営業利益は前期比67.3%増加の3億97百万円となりました。

今後の見通しにつきましては、国内景気は緩やかな回復傾向の継続が期待されるものの、個人消費においては依然として弱含みであり、また海外経済動向の不確実さと相俟って、引き続き難しい経営環境が継続するものと予想されます。

このような環境の下、当社グループでは、お客様にご満足いただける「強いものづくり」を変わらぬ基軸とし、独自性・複雑性の徹底追求、

高品質・高感度な商品づくりに引き続き注力すると共に、新ブランド「PREUVE(プルーヴ)」を含めたブランド・ラインアップによる複合ブランドショップ開発、マーケットに対応した店頭運営力の更なる向上、強い商品をつくり出す生産管理体制の強化、経費の効率使用に努め、科学(構造式)をベースに、感性(想像力)を更に強めて、継続的、安定的に質の高い事業構造を目指すべく全力を傾注し、創立70周年を節目とし、新たな歴史に向かって全社員一致団結して社業の発展に専心努力いたします所存であります。

株主のみなさまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、6月28日の株主総会後の取締役会にて、以下のとおり役員取締役が選定され就任いたしました。

代表取締役会長 CEO 山田 幸雄
代表取締役社長 COO 長島 希吉

平成30年6月

株主のみなさまには、ますますご清栄のことと心よりお喜び申し上げます。

平素は温かいご支援を賜りまして、有難く御礼申し上げます。ここに、第71期(平成29年4月1日から平成30年3月31日)における当社グループの概況につきましてご報告申し上げます。

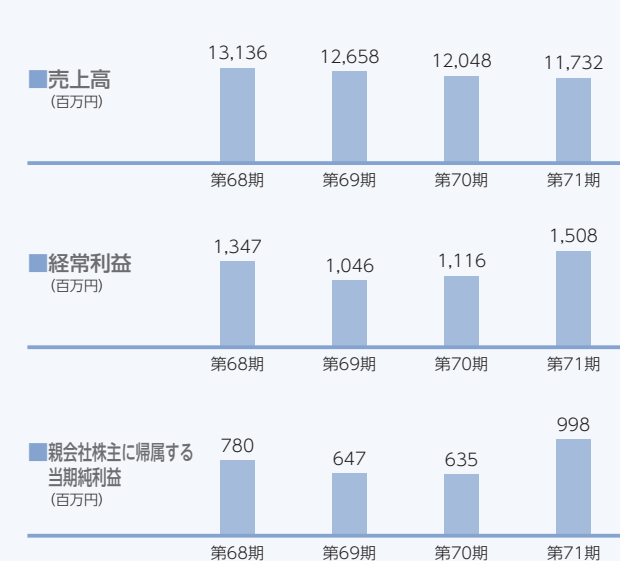
当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済対策や金融政策等を背景に企業収益や雇用情勢において緩やかな回復基調が見られましたが、一方で海外における不安定な政治動向や地政学リスクの高まりへの懸念等、先行き不透明な状況が続きました。

アパレル・ファッション業界におきましては、気温の影響などによる季節需要等、一部に回復の兆しは見られましたが、ライフスタイルの多様化に伴う消費動向の変化や、可処分所得の伸び悩み等、将来不安による消費者の節約志向は依然として強く、総じて厳しい環境が続きました。

このような環境の下、当社グループでは、「強いものづくり」に基軸を置き、事業構造式の変革・進化に取り組む、ものづくりにおける独自性・複雑性を徹底追求し、お客様にご満足いただける高品質・高感度な商品づくりに注力すると共に、売上高の拡大、収益構造の一層の強化に向けて、新規ショップ開発、店頭運営力の更なる進化と向上、生産管理体制の発展強化、経費の効率使用に努めてまいりました。

その結果、売上高は前期比2.6%減少の117億32百万円、営業利益は前期比38.3%増加の14億33百万円、経常利益は前期比35.2%増加の15億8百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比57.1%増加の9億98百万円となりました。

第71期連結決算ハイライト Highlight



	第68期		第69期		第70期		第71期	
	平成26年4月 平成27年3月	平成27年4月 平成28年3月	平成28年4月 平成29年3月	平成29年4月 平成30年3月	平成28年4月 平成29年3月	平成29年4月 平成30年3月	平成29年4月 平成30年3月	平成30年3月
売上高	13,136		12,658		12,048		11,732	
経常利益	1,347		1,046		1,116		1,508	
親会社株主に帰属する当期純利益	780		647		635		998	
1株当たり当期純利益	40円41銭		33円74銭		33円43銭		52円89銭	
総資産	23,189		22,839		23,694		24,671	
純資産	19,555		19,700		20,230		20,891	
1株当たり純資産	1,012円66銭		1,036円54銭		1,064円43銭		1,118円89銭	

FOCUS

創立70周年

「もの言わぬものに もの言わせるものづくり」という社是に込められた精神、
それこそが、これまでもこれからも、キングの歴史を支えるスピリットです。

「創造と変革」で、いつの時代も
「強いものづくり」を追求し続ける。

キンググループは本年9月9日に創立70周年を迎えます。

創業者 山田松義が1948年（昭和23年）京都に「株式会社キング染工芸社」を創立して以来、我々は一貫して「強いものづくり」というあり方を基軸に事業を継続してきました。

テキスタイル事業

創業当時から「プリントのキング」と評判を呼び、世の中が和装から洋装に変わる仕立服の時代も、アパレル産業が成長する時代も、デザイナー・キャラクターブランド全盛の時代も、そしてファッション業界が成熟している現在においても、常にお得意先に納得して頂ける、その時代に即した独創的なプリント商品を70年間提案し続けています。



アパレル事業

日本のアパレル産業黎明期の昭和40年代、「ピノーレ」を立ち上げアパレル事業に着手してから50年、いつもその時代に即した様々なブランドを開発、発表してきました。その間一貫して、常に上質なベターアップマーケットで評価され、品質・品位に優れ、価格よりも価値が勝る、何よりお客様にご満足いただける商品を提案し続けています。

70th anniversary



「科学と感性」でファッションを見つめ、
「独自性と複雑性」を表現する。

現在のファッションビジネスは、情報分析や需要予測など科学的なアプローチなしには存在し得ません。一方で感性なしではファッションビジネスたり得ません。事業を考えるには科学が必要ですし、物事を創るには感性が欠かせません。それゆえ、両者を常に最適なバランスで融合しながら、ものづくりや事業運営に携わっています。

また、事業の優位性を築くには他と差別化する、自らの独自性を打ち出すことが重要ですが、それを極めていくには難しく、複雑な対応が求められ、且つ手間がかかります。しかし、それぞれの業務の中にある難しく、複雑な対応にこそ我々の独自性に繋がる道があると信じて各部門が日々精進しています。

キンググループは、「創造と変革」・「科学と感性」をキーワードとして事業を継続し、
歴史を積み重ねてきました。そしてそれはこれからも変わることなく続いていきます。

FOCUS

受け継がれる“ものづくり”

— 時代の女性たちを輝かせて、「ピノーレ」は50周年を迎えます —

PINORE *50th Anniversary*

50th Anniversary

キングの歴史と共に歩んできた「ピノーレ」には
キングのものづくりの精神が凝縮されています。



1968年、当社が初めてのアパレルブランドとして手掛けた「ピノーレ」。それは、当時ミラノコレクションに触発された創業者・山田松義が国際的な視点で新しいファッションを創造したいという強い思いを込めて誕生させたブランドです。イタリア語で、自らの名「松」を意味する「PINO」と社名「キング（王）」を意味する「RE」を合わせた「PINORE」というブランド名にも、アパレルに進出することに対する強い決意がうかがわれます。

そして2018年、キング創業70周年の節目に「ピノーレ」は50周年を迎えます。女性たちの個性を鮮やかに表現しながら、さまざまな時代をデザインしてきた「ピノーレ」には、今も誕生したときの“ものづくり”への強いこだわりが生き続けています。



「ピノーレ」イメージキャラクター 本上まなみさん

Forever & Ever

これからも輝き続ける女性たちのために。

50周年を迎える今年、キング創業の地である京都にて、イメージキャラクター「本上まなみ」さんを起用した新しいイメージ撮影を行いました。

創業当初から、そしてこれからも続く“ものづくり”への強い思いを、歴史ある京都という地で表現いたします。

デビューから50年を迎え、今なお変わることなく、魅力的に、新しい女性像を提案し続ける「ピノーレ」にご期待ください。



FOCUS

絶え間なく続く創造と変革の“証”

— 創業70周年の節目に、新ブランド「プルーフ」をラインアップ—

PREUVE

“強いものづくりのこだわり”を継承するブランドとして。

1948年の創業以来、変わることのない“強いものづくりへのこだわり”をもとに常に創造と変革を続け、数々のオリジナルブランドを生み出してきました。そして70周年の節目に新たなオリジナルブランド「PREUVE（プルーフ）」がデビューいたします。これまでの徹底したものづくりへのこだわりを凝縮させた新しいブランドにご期待ください。



ブランド名に込めた思い。

「PREUVE」とは、“証”という意味のフランス語。素材とフォルムとその「つくり」にこだわり、独自性と普遍性に「こちよさ」を求めます。多様化するニーズの一角を丹念に突き詰めるものづくりを通じ、混沌とした市場で「価値」や「本質」を求める大人の女性に気高く快適なライフスタイルと自分らしさの“証”を届けます。

Debut

大人としての地位や誇りを持ち、自身にとって相応しい美しさや品格を求めつつ、自分らしくこちよい装いを両立させたい現代女性へ。

ブランドとしての個性や独自性を大切にしながらも、普遍の美しさを追求したエレガンススタイルを展開いたします。細部のつくりにはこだわりつつも、シンプルなデザインを基調としたフォルムの美しさをブランドの特性とし、フィット&フレア、オフボディの2つの軸で快適な着用感を求めたものづくりをいたします。また、天然素材展開を基本とし、きれい目な上質感とこちよいナチュラルテイストを融合。素材は本縫いの編地で仕上げ、軽さと快適性を追求。納得できるまでこだわり抜いて作られた、「プルーフ」の快適な着用感を、現代に表現していきます。



BRANDS

オリジナリティ溢れる、それぞれのカタチ

—明確なスタイルを打ち出すアパレル&ファッショングッズとテキスタイル—

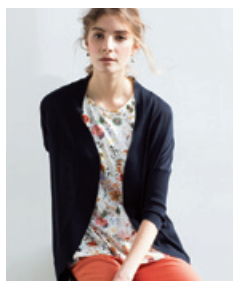
BRAND LINEUP



50th
Anniversary

PINORE

(ピノーレ)
上質で知的な空間に心を満たしながら、常に自分の生き方を楽しみ、描き続ける大人の女性に向けて、モダンライフクロージングを提案します。



JUDY

COLLECTION
(ジュディコレクション)

女性ならではのときめき感を大切に、洗練された大人のこだわりとやさしさをさりげなく表現するコンテンツラリーなフェミニンブランド。



C'EST CHIC'A

(セシカ)

自分のスタイルを持つ女性たちへ向けて、常に着心地と時代へのフィット感を大切に、フェミニンかつカジュアル感を持ったスタイルを提案します。



LUPUY

(リュピュイ)

「STYLE UP & FUN」、スタイリングに華やかさを添えて、ライフスタイルを豊かにするトータルグッズを提案します。



mistico

(ミスティコ)

「上品」「上質」「しなやか」をキーワードに、大人のためのエレガンススタイルを提案します。



MORABITO

BLANC
(モラビト ブラン)

時代を超えて色あせないモラビトのフィロソフィーに、「軽やかさと時代性」をプラスし、繊細なもののづくりとリラックス感あふれる都会的なスタイルを表現します。



MORABITO

PREMIER
(モラビト プルミア)

フランスの最高級バッグブランドモラビトの精神を受け継ぎながら、時代が求める“自分らしさ”や“真の贅沢さ”をまとったこだわりのワードローブを提案します。



AUSTIN REED

REGENT STREET, LONDON
(オースチン リード)

英国の歴史、スタイルに育まれ、また英国王室御用達の栄誉を持つオースチンリード社とのコラボレーションで、クラス感のあるライトプレタスタイルをお届けします。



PRIDE

INTERNATIONAL DESIGN
(プライド)

自分らしさを追求する女性たちへ、セレクト性を重視した「リッチカジュアルスタイル」をGOODSも含めたトータルコーディネートで提案します。



PRIDE BIS

(プリデビス)

プライドのGOODSブランド。WEARブランドのプライドと共に、大人の女性の魅力を最大限に引き出すアイテムを展開します。



PREUVE

(プルーヴ)

こちよく美しい、大人の女性に贈る快適なデイリーエレガンス。個性や独自性を大切にしながらも、普遍の美しさを追求したエレガンススタイルを提案します。

TEXTILE



テキスタイル事業は創業以来70年の間に、キング独自のビジネスモデルを創り上げました。トレンドの発信に参画するプリントのプロフェッショナル集団として、ファッション業界で高い評価を得ています。

WEB SITE

ホームページでも、各ブランドの詳細をご覧いただけます。



<http://www.king-group.co.jp>

決算の概要(連結)

連結貸借対照表

百万円

科 目	第70期	第71期
	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,095	13,089
現金及び預金	8,579	9,589
受取手形及び売掛金	1,301	1,347
商品	1,873	1,835
原材料及び貯蔵品	51	49
繰延税金資産	108	134
その他	190	137
貸倒引当金	△10	△4
固定資産	11,598	11,582
有形固定資産	8,653	8,606
建物及び構築物	1,912	1,882
土地	6,475	6,474
その他	265	249
無形固定資産	532	455
投資その他の資産	2,413	2,519
投資有価証券	1,547	1,684
長期貸付金	7	7
差入保証金	638	607
その他	237	236
貸倒引当金	△16	△16
資産合計	23,694	24,671

百万円

科 目	第70期	第71期
	平成29年3月31日現在	平成30年3月31日現在
負債の部		
流動負債	2,286	2,595
支払手形及び買掛金	854	973
短期借入金	380	380
未払金	321	327
未払法人税等	230	354
未払消費税等	52	54
賞与引当金	237	289
役員賞与引当金	21	30
その他	188	186
固定負債	1,177	1,184
長期借入金	30	30
繰延税金負債	78	134
退職給付に係る負債	231	179
資産除去債務	100	100
長期未払金	167	167
その他	569	572
負債合計	3,463	3,780
純資産の部		
株主資本	19,760	20,311
資本金	2,346	2,346
資本剰余金	8,127	8,127
利益剰余金	10,993	11,744
自己株式	△1,705	△1,905
その他の包括利益累計額	469	579
その他有価証券評価差額金	470	565
退職給付に係る調整累計額	△0	13
純資産合計	20,230	20,891
負債及び純資産合計	23,694	24,671

連結損益計算書

百万円

科 目	第70期	第71期
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
売上高	12,048	11,732
売上原価	5,368	5,118
売上総利益	6,680	6,614
販売費及び一般管理費	5,643	5,180
営業利益	1,036	1,433
営業外収益	85	80
受取利息	8	7
受取配当金	32	36
その他	44	37
営業外費用	6	4
支払利息	3	2
その他	3	2
経常利益	1,116	1,508
特別利益	0	2
固定資産売却益	0	2
特別損失	166	38
固定資産除却損	91	38
環境対策費	75	—
税金等調整前当期純利益	949	1,472
法人税、住民税及び事業税	293	490
法人税等調整額	20	△15
当期純利益	635	998
親会社株主に帰属する当期純利益	635	998

連結株主資本等変動計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	2,346	8,127	10,993	△1,705	19,760	470	△0	469	20,230
当期変動額									
剰余金の配当			△247		△247				△247
親会社株主に帰属する当期純利益			998		998				998
自己株式の取得				△200	△200				△200
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	94	14	109	109
当期変動額合計	—	—	751	△200	551	94	14	109	660
当期末残高	2,346	8,127	11,744	△1,905	20,311	565	13	579	20,891

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、従来からの報告セグメントである「アパレル事業」「テキスタイル事業」に加え、「エステート事業」を報告セグメントに追加しました。なお、前期比較につきましては、前期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えて比較しております。

事業セグメント別売上高

百万円

区 分	第70期	第71期
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
アパレル	10,825	10,166
テキスタイル	853	1,044
エステート	369	521
合 計	12,048	11,732

要約連結キャッシュ・フロー計算書

百万円

科 目	第70期	第71期
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,664	1,624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△554	△167
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217	△447
現金及び現金同等物の増減額	892	1,009
現金及び現金同等物の期首残高	6,687	7,579
現金及び現金同等物の当期末残高	7,579	8,589

■会社の概要 (平成30年3月31日現在)

会社名 ● 株式会社キング

設立 ● 昭和23年9月

資本金 ● 23億46百万円

社員数 ● 205名(グループ)
309名(店頭販売員等を含む)

主要事業 ● アパレル(レディス・ファッショングッズ)
(グループ) テキスタイル(プリント・無地先染)
エステート

■役員 (平成30年6月28日現在)

代表取締役会長CEO ● 山田 幸雄

代表取締役社長COO ● 長島 希吉

取締役専務執行役員 ● 石井 修二

取締役専務執行役員 ● 四反田 孝

取締役常務執行役員 ● 堀 武美

取締役 ● 鈴鹿 且久

取締役 ● 澤田 眞治郎

常勤監査役 ● 苗村 尚志

監査役 ● 北村 茂昭

監査役 ● 平居 新司郎

(注) 1. 取締役の鈴鹿且久氏、澤田眞治郎氏は、社外取締役であり、東京証券取引所が定める独立役員であります。
2. 監査役の北村茂昭氏、平居新司郎氏は、社外監査役であります。

■事業所

●東京本社
〒141-0031 東京都品川区西五反田2丁目14番9号 TEL (03) 3490-1371

●大阪店
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1番7号 TEL (06) 6368-7800

●京都本店
〒600-8214 京都市下京区東塩小路高倉町2番の1 TEL (075) 681-9110

●渋谷店
〒150-0041 東京都渋谷区神南1丁目6番6号 TEL (03) 3476-0260

■株式の状況 (平成30年3月31日現在)

●株式の総数及び株主数

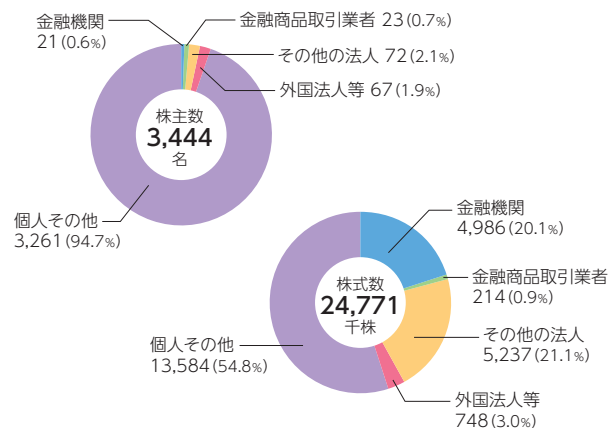
発行可能株式総数	95,572,000株
発行済株式の総数	24,771,561株
当期末現在株主数	3,444名

●大株主

株主名	株式数(千株)
大同生命保険株式会社	1,140
キング共栄会	1,071
一般財団法人山田育英財団	1,037
株式会社三菱東京UFJ銀行	930
株式会社中央倉庫	914
株式会社京都銀行	842
有限会社ワイ・エンタープライズ	800
山田幸雄	731
日本生命保険相互会社	503
三井物産株式会社	475

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は、自己株式6,100千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
3. 株式会社三菱東京UFJ銀行は、平成30年4月1日付で「株式会社三菱UFJ銀行」に商号を変更されております。

●株式の所有者別分布



■株主メモ

事業年度 ● 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日 ● 定時株主総会 3月31日
● 剰余金の配当 期末 3月31日

定時株主総会 ● 毎年6月に開催

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 ● 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 ● (〒541-8502) 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 ● 東京証券取引所 市場第一部

公告の方法 ● 当社のホームページに掲載いたします。
<http://www.king-group.co.jp/ir/index.html>
ただし、やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意) 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■単元未満株式の買増制度のご案内

単元未満株式をご所有の株主様は、その単元未満株式の数と合わせて1単元になる数の株式を当社に対して買増請求することができます。詳細につきましては、株主名簿管理人までお問い合わせください。

■株主様ご優待制度のご案内

最低必要株式数 100株

ご優待内容

- (1) 図書カードの贈呈
3月31日現在の株主様
●保有株式500株以上1,000株未満の株主様 500円分の図書カードを贈呈
●保有株式1,000株以上2,000株未満の株主様 1,000円分の図書カードを贈呈
●保有株式2,000株以上の株主様 2,000円分の図書カードを贈呈
- (2) 当社ファミリーセールご招待
①3月31日現在の100株以上保有の株主様
●6月開催の当社ファミリーセールご招待状を贈呈
●6月ファミリーセールでの10万円(税込)までのお買物に対し、10%の割引券を贈呈
②9月30日現在の100株以上保有の株主様
●12月開催の当社ファミリーセールご招待状を贈呈
●12月ファミリーセールでの10万円(税込)までのお買物に対し、10%の割引券を贈呈

※当社ファミリーセールは、当社グループ社員・家族及びその関係者を対象に東京会場及び大阪会場にて開催しております。

KINGCO.,LTD.

<http://www.king-group.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。